

令和 2 年産 紀南のみかん産地情報

2020/07/29

1. 開花～着果状況

本年は年明けから気温が平年より高く推移したが、4月から開花期にかけて気温は平年より低くなり、満開日は早生で5月4日と、前年・平年より2日程度早くなった。

満開後の気温は平年並みからやや高くなり、降雨量が少なく生理落果が多くなった。



7月20日の定点着果量調査(直径3cmの調査枝)では、極早生の着果は19.8果(前年比89%、平年比77%)と前年・平年より少なく、早生は12.4果(前年比79%、平年比58%)と、前年・平年より少ない結果となった。

2. 果実の肥大・品質

7月20日時点の肥大は、各品種とも前年・平年並みとなっている。また品質については、酸度は前年・平年より低く、糖度は前年並みで・平年よりやや低くなっている。

品 目	2 年 産			1 年 産			平 年		
	横径mm	酸度%	糖度%	横径mm	酸度%	糖度%	横径mm	酸度%	糖度%
日南1号	40.6	3.61	6.6	39.0	4.42	6.5	38.6	4.07	7.1
早 生	36.8	3.81	6.4	35.4	4.44	6.5	35.5	4.18	7.1

3. 品質向上対策

現在、果実品質向上のため、摘果やマルチ被覆、フィガロン散布を啓発している。また、味・外観を向上させるため、着果の多い極早生の摘果は8月中旬までに、早生では9月下旬～10月上旬までに仕上げ摘果を進める。

4. こだわりグループの取り組み

今年で16年目の「極早生こだわり」は、107名15.7ha、13年目になる「早生こだわり」は、38名5.9haとなっている。

グループでは7月下旬～8月上旬にかけて、第一回目の園地巡回と品質検査を計画しており、生産者一丸となって高品質生産に取り組んでいる。

5. 今年産の生産予想量 (7月29日時点)

単位：t

品 目	2 年 産	1 年 産	平年(過去6年)	前年比	平年比
極早生	3,032	3,025	3,285	100.2%	92.3%
早 生	6,069	5,941	6,222	102.2%	97.5%
合計(普通含む)	9,118	8,981	9,536	101.5%	95.6%